



飯舘村放射能エコロジー研究会 (IISORA) 東京シンポジウム

原発災害と生物・人・地域社会

福島で事故でわかってきたこととこれからの課題

併催：飯舘村酪農家・長谷川健一写真展『飯舘村』

日時：2013年3月30日（土）10：00～18：00

場所：東京大学農学部弥生講堂一条ホール（定員300名）

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/index.html>

参加費：無料（申し込み不要）

主催：飯舘村放射能エコロジー研究会

共催：NPO 法人エコロジーアーキスケーブ

協力：飯舘村写真展実行委員会

賛同団体：飯舘村後方支援チーム、京都大学原子炉実験所原子力安全研究グループ、
（50音順）原子力資料情報室、原発事故被災者相双の会、国際環境 NGO FoE ジャパン、
世界自然保護基金（WWF）ジャパン、市民エネルギー研究所、
東京大学大学院新領域創成科学研究科鬼頭研究室、日本大学生物資源科学部系長研究室、
農村計画学会、BIOCITY、ふえみん、北海道大学スラブ研究センター家田研究室

お問い合わせ先 / IISORA 東京シンポジウム事務局 E-mail:sympo@iitate-sora.net

プログラム

<開会あいさつ> 10:00 - 10:10

<第1部>放射能の生物影響と初期被曝量評価

座長 NPO エコロジーアーキスケープ 小澤祥司

10:10 - 12:10

- 飯館村全域を対象とする放射能汚染と初期被曝量評価の試み
京都大学原子炉実験所 今中哲二
- 飯館村での低レベルガンマ線場を用いたイネの遺伝子発現実験の報告
筑波大学大学院生命環境科学研究科 ランディープ・ラクワール
- 福島原発事故のヤマトシジミへの生物学的影響
琉球大学理学部 大瀧丈二
- 高線量地帯周辺における野生動物の生態・被曝モニタリング
東京大学大学院農学生命科学研究科 石田健
- 福島県に生息する野生ニホンザルにおける放射性セシウムの被ばく状況について
日本獣医生命科学大学獣医学部 羽山伸一

12:10 - 13:30 昼食休憩

13:30 - 14:00 <基調講演> 原発災害とリスクコミュニケーション

東京大学大学院新領域創成科学研究科 鬼頭秀一

<第2部>村民の思いと現状報告 座長 國學院大学経済学部 菅井益郎

14:00 - 15:00

- 全村避難から2年 飯館村民からの報告
小宮 酒井政秋 佐須 菅野榮子 長泥 杉下初男

15:00 - 15:30

- 避難生活実態と復興に関する飯館村成人悉皆アンケート調査報告
日本大学 NPO エコロジーアーキスケープ 浦上健司

15:30 - 15:50 休憩

<第3部>賠償問題と支援の課題 座長 日本大学生物資源科学部 糸長浩司

15:50 - 16:50

- 損害賠償問題 原発被災者弁護団(東京) 弁護士 小林克信
- 「福島一関東対話の会」の活動から 福島一関東対話の会 渡辺瑛莉

16:50 - 18:00

- 総合討論 モデレーター 糸長浩司



東京大学農学部弥生講堂一条ホール 【地下鉄】

- ・東京メトロ南北線「東大前」駅下車 徒歩1分
- ・東京メトロ千代田線「根津」駅下車 徒歩8分

【都バス】

- ・御茶ノ水駅(JR中央線、総武線)より
茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行
東大(農学部前バス停)下車徒歩1分